

第1回 こどもワークショップ 「いつでもあそびに行ける体育館・公園」

日時： 令和7年11月15日（土） 13:30~15:30
 会場： 生涯学習センター 3階 講堂
 参加者： 参加者：36名（こども 28名、保護者 8名）
 講師： 浅野耕一（秋田県立大学准教授）
 仙田満（東京工業大学名誉教授）
 スタッフ：27名（うち秋田県立大学生6名）



INPUT ミニレクチャー

- 13:30-13:35 注意事項の説明
撮影のお知らせと資料の説明
- 13:35-13:40 講師・スタッフ紹介
- 13:40-13:53 計画の説明（仙田満先生）
- 13:53-14:10 ミニレクチャー（浅野耕一先生）
あそびがつくる未来
- 14:10-14:20 こどもが参加するまちづくりの試み
ーミニミュンヘンの紹介

OUTPUT 1 ディスカッション

14:25-15:00 ディスカッション
 レクチャーの内容を参考に、新しい県立体育館でやりたいことを考え、それをふせんに書き、図面に貼って、みんなとアイデアを共有しました。

日ごろから開放される「丘」と「ホール・ギャラリー・モール」を中心にどんなことをやってみたいか、話し合いました。

OUTPUT 2 発表

15:05-15:30 各グループの発表会

6つのグループそれぞれに、こどもたちがふせんを貼った図面を持ち、グループにおけるアイデアを発表しました。
 体育館や丘で何をしたいか、どのようなものがほしいか、会場全体での意見交換をしました。



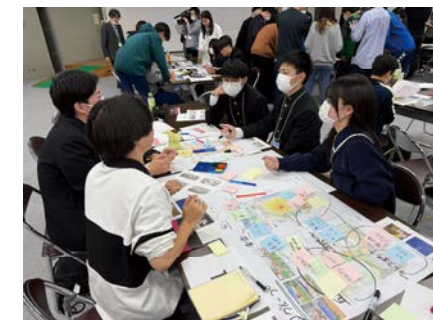
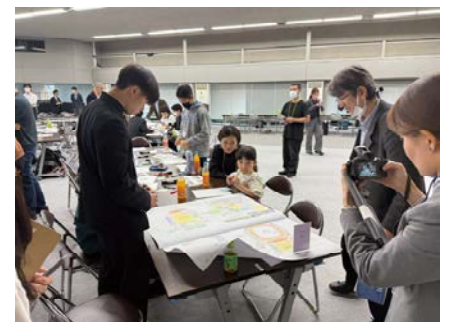
新しい県立体育館の説明



あそび環境についてのミニレクチャー



やってみたいことについてアイデアを出しあう



図面と模型を囲みグループのみんなと話し合う



グループの意見をまとめ、みんなの前で発表する



各グループの発表を聞き、新しい体育館の使い方についてイメージを共有しました

